

I

学部教育の理念と目標

- 学部教育の理念と目標

学部教育の理念と目標

人文学部の「教育の理念」

人文学部長 ● 関 口 浩 喜

人文学部は、「教育の理念」として「広範な一般教養を身に付けると同時に、すべての学問の基礎となる人文学諸分野の専門知識を修得し、他者との関係への配慮や自由と責任に基づく倫理観を備えた人間を育む」ことを掲げています（詳しくは、この『学修ガイド』に収録されている「諸規程」をご覧ください）。ここからわかるように、人文学部の「教育の理念」は、一般教養・専門知識・倫理観という三つの柱から成っています。

「一般教養」は、主として共通教育科目、特に総合教養科目を通じて身につけることができます。本学の総合教養科目は、設置されている科目の多さにおいても誇るべきものがあります。総合教養科目の履修を通じて、ぜひ自分の知識と関心の幅を広げてもらいたいと思います。多様化し複雑化する現代社会において、広い視野と教養とは不可欠のものだからです。

「専門知識」は、それぞれの学科に設置されている専門科目を通じて身につけることができます。どの学科も、皆さん方が順序を追って専門知識を深めることができるよう、カリキュラムを工夫しています。学科の専門科目を受講することで、自分が関心をもつ領域を深く知り学ぶ喜びを知ってもらいたいと思います。

「倫理観」は、教員や友人との交流を通じて形成されます。人文学部には多様な教員、多様な学生たちが集まっています。異なる考え方や価値観に触れることは、自身の考え方や価値観を見直すきっかけとなります。教員や友人との交流を通じて「他者への配慮」とはどういうことか、「自由と責任」とはどういうことか、実地に学んでください。

もちろん、「広範な一般教養」も「深い専門知識」も「倫理観」も、一朝一夕に身につくものではありません。それらは一生という長い時間をかけて身につけてゆくべきものなのかもしれません。しかし、人文学部で過ごし学ぶ四年間で、少なくともそのための基盤を築いてもらいたいと切望します。

そのためにも、ぜひこの『学修ガイド』を活用してください。そしてまた、人文学部のホームページなどを通じて、人文学部の、そして、あなたが所属する学科の「ディプロマポリシー」や「カリキュラムポリシー」を確認してみてください。「ディプロマポリシー」には、四年間の学修を終えたときに、あなたにどのような能力が身についているかが記されています。「カリキュラムポリシー」には、その能力を身につけるために科目がどのように配置されているかが記されています。あなたが所属する人文学部および学科の「ディプロマポリシー」や「カリキュラムポリシー」を知ることで、あなたの大学での学修をさらに充実したものにするでしょう。